

スクールゾーン 実行委員会便り

令和7年12月

札幌市立西小学校

スクールゾーン実行委員会

会長 加藤 優貴



12月16日（火）、西小学校2階多目的室で、令和7年度第2回スクールゾーン実行委員会を開催しました。会には西区市民部、西区土木部、西警察の方々や地域の町内会会長・交通部長、スクールガードリーダー、本校PTA役員などの方々にご参加いただきました。

会の中では、参加された方々から見た地域の交通安全や冬季間の児童の安全確保等が話題となり、児童の安全のための交流を活発に行いました。



【報告や計画、交流の概要】

① 令和7年度の支出経過報告・事業報告・今後の予定

- ・長期休業日明けに、交通安全指導（PTAボランティア活動を含む）を実施。
→3学期は1月15日（木）～21日（水）を予定。
- ・3学期の始業式内で交通指導員3名の紹介、南玄関に紹介ポスター設置を予定。
- ・文書等による職員周知及び学級指導（交通安全教室実施・ヒグマ出没のため注意喚起）
- ・札幌地区トラック協会主催「こども交通安全教室」の開催（9月）
- ・PTAでは、ボランティアによる交通安全指導、保護者による常時の校区巡回を実施。「みまもりす」バッジを家庭や職員に配付。
- ・交通量の多い学校付近の歩道等にドライバーに対する注意喚起の「のぼり旗」を設置予定。

② 関係者の方々より

- ・子どもは下を向きながら横断歩道を渡っていて周りをよく見ていない場合が多いため、一緒に歩く際に大人の目線で危険を知らせていくことも大切。（車は急に止まれない等）
- ・登下校の見守り中、歩行者信号が青に変わった途端に走り出したり、路肩の雪山に登ったりしている小学生の姿を見掛けるので、できるだけ声を掛けて危険であることを伝えている。
- ・冬季は帽子や耳あて等の着用で車の接近に気付きにくい。注意喚起が必要。
- ・地域で巡回パトロールを行い、挨拶や声掛けをしながら不審者等の対策に取り組んでいる。ベストの活用も効果的。
- ・地域住民が安心安全に過ごせるよう、交通指導や見守りの際には小学生だけでなく保護者や地域の方々とも挨拶を交わす等、日頃のコミュニケーションに努めている。
- ・道幅の狭い路地では、地域で協力し近所の歩道も除雪し、歩行者の安全に努めている。
- ・交差点付近の雪山は見通しがよくなるよう、除排雪をお願いしたい。
- ・信号機付き横断歩道の設置要望については継続して行っていく予定。



【冬の交通安全 指導のポイント】

●除雪車に近づかない！

車の死角に入ると、運転手が歩行者に気付かないことがあります。



●道路で遊ばない！

雪遊びをする場合は、決められた正しい場所にしましょう。

●雪山に登らない！

周りに注意し、正しい歩道の歩き方や横断歩道の渡り方を心がけましょう。

●飛び出さない！

歩道や車道がスケートリンクのようにツルツルになることがあります。

とまる・みる・きく・まつ